



十五夜
夜
うさぎ







いつも一緒だったのに、

黒いうさぎはびくびく

してし

まいま

した

どうして...

と白うさぎに

たずね

ても、



たのしいよ
だよ

とニコニコ

ばかりです

黒いうさぎは

悲しくなると

しまいました



わけを聞いて

も白うさぎ

は答

えて

くれ

ません

白う

さぎは、

ほくが帰って

くる時きと

分るよ



とこつた
ほくが帰ってくる
まで君はもちをつい
て待っていておくれよ
一人でいても気がま
ぐれるだろうから
と言いました



きつと帰ってきておく
れよ、きつとたよ
大げさ
たなまきみは
帰ってくるとも



こころして、
黒いうさぎは
もちをつ
きなから
白うさぎ
の帰りを
待つことにしま
した
白うさぎは
黒いうさぎに
見送られ、
月の裏へ向いました

月の裏には、

赤くて

とても
きれいな



花が咲い

ていました

今日は

黒いうさぎ

のたんじよ

うひたの

てですが、

黒いうさ

ぎは

すっかり

せ心れている様子

でした

白うさぎは



う



黒いうさぎを

びっくりさせて

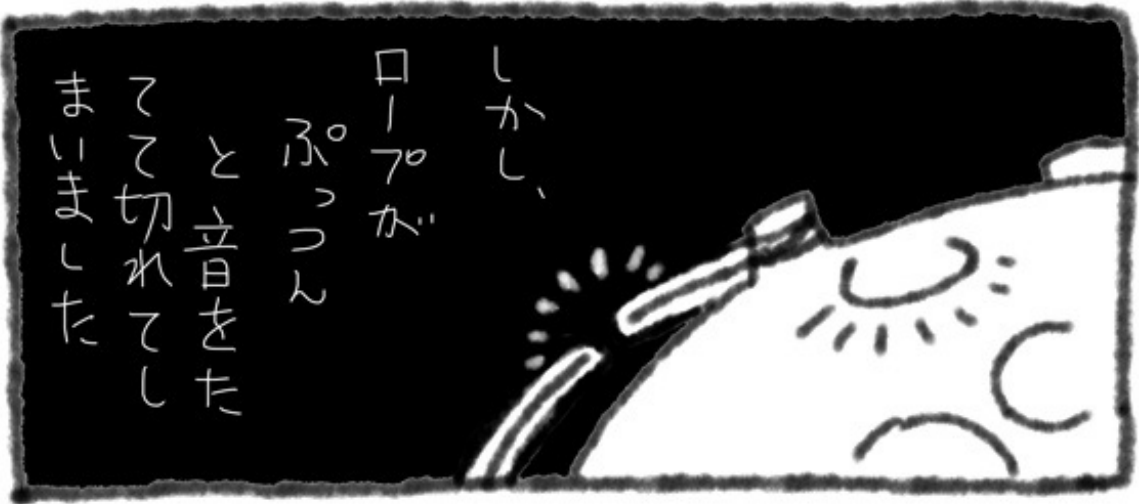
やろっ！

と思っ、その

赤い花を取りに

やってきましたのでした



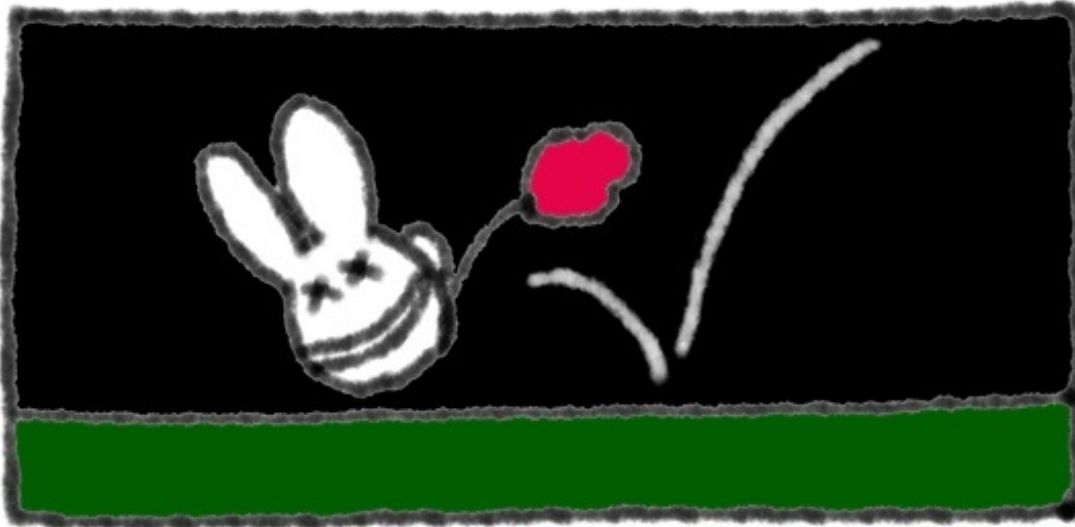
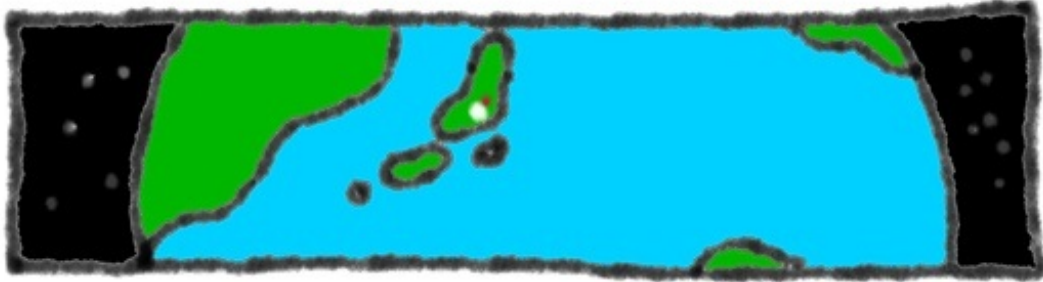
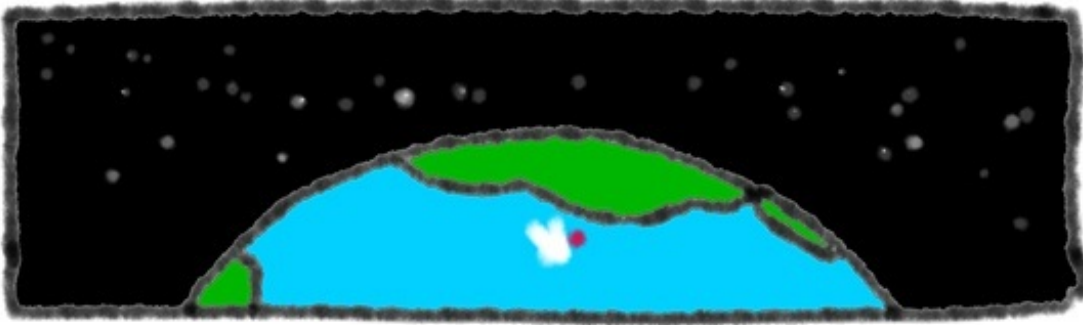


しかし、
ロープが
ぷっつん
と音をた
てて切れてし
まいました



白うさぎは
花とともに
まっすかさまに
落ちていき
ました







迷子に
なり、
黒いうさぎ
に贈る
花をか
らせてし
まった白
うさぎは
とうとう
うさぎ
出して
しまいました



白うさぎ
の目は泣き
すきで、
かれる前の花
のように直ぐ
赤にとまって
しまいました



すると、
みみずく
の親子
が穴を指して
「ここだよ」





黒いうさぎ
かもち
をつきな
から、ぼく
の帰りを待っ
ていてくれて
いるミ



早く帰らな
くちヤ!!
と、白うさぎは
高く高く
とびあがりま
した



しかし、
いくら
高く高
くとびあがっ
ても、
月には全
とどきま
せん



それでも
白うさぎ
はずっと
月にむかって
とびはね
つづけ
ました



そして、
黒うさぎは
ずっと
ずっと
白うさぎの
ことを待ち
つづけました



今日も
白うさぎはとび
はねつづけ、
黒うさぎは月で
もちをつきつづけ
ているでしゅ。

